

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ガリレオ オリンピア		
○保護者評価実施期間	2024年10月22日		～ 2024年11月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25名	(回答者数) 22名
○従業者評価実施期間	2024年12月1日		～ 2024年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数) 6名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年12月5日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を主として、集団療育を行っている。	5領域に基づいて療育メニューを考えています。	研修を受けて得た知識を、療育に反映していきます。 一人一人の子どもたちの目標に沿った療育を実施していきます。
2	子どもたちに寄り添った療育を行う。	子どもたちとコミュニケーションをとり、 気持ちに寄り添います。 また、保護者様との連携を大切にしています。	今後も継続して、子どもたちの笑顔・成長のために 尽力していきます。
3	様々な療育イベント・活動を行っている。	療育イベントには、運動療育だけではなく、 様々な経験・体験ができるよう意識して内容を 決めています。	新しい療育イベント・活動を取り入れていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	運動能力の差・年齢の差が広がってきているため、 療育内容の難しさがある。	利用者様の幅が広がったため。	療育内容を2パターン考え、 グループに分けて運動を行います。 上級生に下級生を見てもらう等、社会性を 伸ばす療育を行います。
2	人為的ミスがある。	確認不足とパート職員への通達漏れ。	2度の確認、チェックを行います。 朝礼・昼礼・終礼で確認し、 パート職員への通達できる流れを作りました。 パート職員自身でも確認できるように指導を行います。
3	固定利用の空き枠を確保できない。	利用希望者多数のため。	スポット利用でガリレオオリンピアの療育に 慣れてもらいながら、 固定利用の空き枠が出来次第、順次入れていきます。 必要に応じて併用事業所様とも連携をとり、 利用者様にとって最善の療育環境をご提案します。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 ガリレオ オリオンピア

公表日 2024/12/4

利用児童数 28名

回収数 22名

	チェック項目	ご意見				ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	1	0	0	現状維持。
	2 職員の数等は適切であると思いますか。	18	3	0	1	現状維持。職員のスキルアップをして目行き幅かせていきます。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	21	1	0	0	現状維持。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	20	1	0	1	現状維持。
適 切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	2	0	0	現状維持。HPやブログ等、プログラムの具体的な内容や療育のねらいを発信していきます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	21	0	0	1	現状維持。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	22	0	0	0	現状維持。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	20	0	0	2	現状維持。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22	0	0	0	現状維持。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	17	3	1	1	現状維持。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	3	5	6	現状維持。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22	0	0	0	現状維持。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	0	2	現状維持。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	22	0	0	0	現状維持。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	21	0	0	0	現状維持。
保 護 者 へ の 説 明 等	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	21	0	0	0	現状維持。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	22	0	0	0	現状維持。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	2	0	1	現状維持。
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	0	0	0	現状維持。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	0	0	0	現状維持。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	19	1	0	2	現状維持。
	22 個人情報取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19	3	0	0	現状維持。
	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	3	0	3	現状維持。
非 常 時 等 の 対 応	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	15	3	0	4	現状維持。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	1	0	4	現状維持。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	1	現状維持。
	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	21	1	0	0	現状維持。
満 足 度	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	17	3	1	1	現状維持。
	29 事業所の支援に満足していますか。	21	1	0	0	現状維持。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	ガリレオ オリンピア			公表日	2024年 12月 5日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	運動療育を主として行っているため、広い療育室があります。外にもビルの共有スペースではありますが、広いテラスがあり、気候を考慮した上で使用しています。	運動能力の差があるため、グループに分けて療育をする際に狭さを感じる場合があります。療育メニューを見直しながら適切な広さで療育に取り組みようとしています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	0	基本的に10人の定員です。職員4~6名の配置で療育を行っています。	利用者様の特性に応じて、配置数を考えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	6	階段だけではなく、エレベーターを使用することもあります。	建物自体が古いため、トイレが古く薄暗いように感じます。音の過敏があったり怖さを感じている利用者様とは、職員とコミュニケーションをとりながら一緒に行く等で対応しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	2	4	事業所内は毎日掃除を行っています。壁面装飾は季節によって変更し、視覚支援の張り紙等にも取り組んでいます。	建物自体が古いため、経年劣化が気になります。改善できるところは修理しながら安全に過ごせるように対応します。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	学習室・応接室・事務室・キッチンと全てが個室になるため、療育中のクールダウンスペースとしても使用出来ています。	特になし。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	1か月に1度、アクションプランとしてPDCAサイクルを考えて職員全員で取り組んでいます。	特になし。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	1年に1度の神戸市アンケートの他に、懇談会や別途アンケートを実施しています。保護者様からのご意見を考慮して業務・療育に反映していきます。	特になし。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	日々の朝礼・昼礼・終礼や、検討会議を行い、気付いたことを共有しています。意見が出た時は、すくに対応しています。	特になし。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	外部講師に実地研修で評価をしてもらい、改善につなげています。	特になし。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	週に1度、外部講師による研修を受講しています。	特になし。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	2024年4月以降、個別支援計画に基づいて時間計画書を配布しています。	特になし。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	半年毎に個別支援計画のための面談を行っています。その際に、保護者様にアセスメントを記入していただいています。保護者様からのご意見を考慮して業務・療育に反映していきます。	特になし。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	日々の朝礼・昼礼・終礼や、検討会議を行い、その日の利用者様の支援内容を共有しています。個別支援計画をもとに、現在の達成度等も話し合っています。また、月に1度、支援検討会議を職員全員で行っています。	特になし。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	5領域に基づいたアセスメントシートを作成し、使用しています。	特になし。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	保護者様だけでなく職員にとっても見やすく分かりやすく、なるべく具体的な支援目標を記載するように努めています。支援目標を具体的にすることで支援の方向性を統一しています。	特になし。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	日々の朝礼・昼礼・終礼で、療育内容や支援内容をみんなで共有しています。	特になし。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	様々な体験をしてほしいという想いで運動療育や療育イベントを考えています。同じ療育の中でもねらいを定めて取り組むことで新しい経験になっています。	特になし。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	利用日当日の利用者様の様子にも気を配り、職員間の情報共有のもと、療育の進め方や関わり方を変えながら支援しています。	特になし。

関係機関や保護者との連携	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	朝礼・昼礼で情報共有・確認・連携して支援を行っています。	特になし。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	終礼でその日の様子のフィードバック、情報共有を行っています。	特になし。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	業務日報に総評を記録しています。終礼でフィードバックを行い、次につながる支援を意識しています。	フィードバックの記録を残せるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	半年に一度、保護者様との面談を行い、個別支援計画の見直しを行っています。療育内容・計画についても、月1回の検討会議で見直しや改善を行っています。	特になし。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	6	0	個別支援計画に記載し、その計画に基づいて支援を行っています。	特になし。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	利用者様の気持ちや表現、言葉にしっかり聴きながら支援を行っています。	特になし。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	児童発達管理責任者または、保育士主任が参加し、当施設を利用時の様子を共有しています。担当者会議前には、他職員からの意見を聞き、まとめてから会議に参加しています。	特になし。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	学校・併用事業所との連携は、個別支援計画にも記載し、取り組んでいます。	特になし。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	6	就学前の情報は、保護者様から伺っています。	必要に応じて、就学前の状況把握・情報共有のために関係機関との連携を行います。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	6	現在、在学中の利用者様のみの利用です。移行支援が必要になった際には情報提供等もさせていただきます。	必要に応じて、移行支援も行います。まだ一度も実施したことがないため、他事業所様からも情報を得ておきます。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	6	子ども部会に参加しており、連携が取れるように関係機関との横のつながりを持っています。	必要に応じて、関係機関との連携を行います。研修等は、外部講師により毎週行っています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0	6	他事業所様との合同活動も視野にいられており、3か月に1度程度、勉強会に参加し、横のつながりを持っています。	必要に応じて、地域との交流を行います。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0	子ども部会に参加しています。	特になし。	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	送迎時、連絡帳、LINE、電話等で情報共有を行っています。	特になし。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	家族支援として、個別支援計画に記載した上で、懇談会や参観日を定期的に行っています。参加していただいた際には、療育・支援についてお話しさせていただきます。	懇談会・参観日に参加できない保護者様もいらっしゃいますので、個別でお話できる機会をつくれぬか思案中です。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に説明しています。保護者様からご希望があれば、都度ご説明させていただきます。	特になし。
		37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	面談時に、保護者様からご意向を伺っています。どの保護者様も、子どもたちのことを想っていらっしゃいます。	特になし。
		38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	利用契約書、重要事項説明書・個別支援計画等、すべて同意をいただいで利用していただいています。	特になし。
		39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	ご相談があれば、密に連携をとらせていただいています。	特になし。
		40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	懇談会・参観日・ご家族様参加型の療育イベントを適宜設けております。	特になし。
		41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	苦情窓口を設定しております。職員に直接ご相談・ご指摘をいただいた際は、迅速に対応できるよう努めております。	特になし。
		42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0	ホームページ・リタリコにてブログを更新しております。月間予定については都度お便りを配布しております。療育イベント内容はLINEにて配信しております。	年間計画等のお便り配布や配慮も考えております。

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	マニュアルに則って、留意しています。	配布間違い等、人為的ミスを無くしていきます。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	利用者様・保護者様との連携を密にとれるよう、送迎時やLINE・電話等で対応させていただいています。	特になし。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	1	5	行事ではありませんが、親和大学NPO法人様と契約し、大学生に虐待参加していただいています。	親和大学NPO法人様と、より連携をとっていきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	マニュアル策定しております。様々な場面を想定し、避難訓練・防犯訓練と共に、今後は、感染症対応訓練も行っております。	特になし。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	服薬については、重要事項説明書に記載しております。エビペンの利用についても、年に2回、事業所内で講習をしています。救命救急の研修も、年に2回、外部講師・研修に取り組みしています。	特になし。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	4	安全計画は策定しています。	ご家族様への周知ができておりませんので、今後周知できるようにしてまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット・事故報告書は都度記録し、再発防止対策を検討しています。	特になし。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	虐待・身体拘束の研修と対策委員会を年に4回程度実施しています。	特になし。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	必要に応じて、身体拘束・経過報告の同意書をいただいています。	特になし。